

科学技術コミュニケーション推進事業問題解決型科学技術コミュニケーション支援
(ネットワーク形成型)

平成 27 年度採択企画最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名 公立大学防災センター連携による地区防災教室ネットワークの構築

2. 提案機関 公立大学法人大阪市立大学

3. 企画の概要

地域に密着した公立大学防災センターが連携して、地域の自助共助の防災教育の仕組みとなる地区防災教室ネットワークを構築する。これにより災害時の避難遅れ、避難路選択ミスなどの解消につながるアクティブラーニング型防災教育の社会実験を行う。災害リスクの異なる地区ごとにコミュニティ防災協議会を組織し、小中学校の空き教室を活用した地区防災教室を拠点に子ども、障がい者、高齢者などの災害弱者を含む住民と防災リーダー、消防士、医師、福祉士、教師、学生が協働して、生活現場で能動的に取り組む防災訓練プログラム、アクティブラーニング災害対応訓練の社会実験を実施する。

4. 最終ヒアリング結果総合所見

計画は達成され、ネットワークの定着・継続・発展が期待できる。

各地域における活動内容ならびに全体のネットワーク構築は実績をあげており評価できる。さらに地域防災に関する課題を適切に捉え、それぞれについて体系的な活動を実践し、地域主体の継続的活動へのきっかけを作り、成果の他地域への汎用可能性も高く、活動の継続と展開が期待できる。

今後、ジェンダーの視点をしっかりと取り入れ、より一層フラットな科学コミュニケーション活動を期待したい。また、受講者が主体的に防災に関わる地域のリスク改善等の行動や防災課題の解決に結びつけていただきたい。

以上